■令和３年度執行目標（達成状況）市長直轄組織（人事秘書課）

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目（単位）	根拠計画等	R3年度実績値	R3年度目標値
市長直轄組織	人事秘書課	1	**木津川市定員適正化計画の推進**	第３次「木津川市定員適正化計画」（計画期間：平成３１年４月１日から令和５年４月１日まで）の目標達成に向けて、適切な人員管理に努めていく。	一部未達成・成果小	定員適正化計画の達成状況は、令和４年４月１日現在の目標値が４６０名としていたところ、実績は４７０名の１０名超過であった。引続き新規採用職員の採用抑制や適性な人材配置並びに会計年度任用職員を活かした組織運営や人員管理を図り、着実な計画達成を進めていく。	令和４年４月１日現在職員数（名）	第３次木津川市定員適正化計画	470	460
市長直轄組織	人事秘書課	2	**職員の人材育成・働き方改革の推進**	職員一人ひとりが生産性の向上を求められる中、限られた人的資源を最大限活用するため、庁内副業・人材育成制度「ＳＫＩＰ制度」の活用や、効果的・効率的な研修プログラムの検討等により職員のスキルアップを図る。また、「テレワーク制度」を導入することで、親族の介護を要する職員や産後職員などが休職することなく働き続けられる環境を整備するとともに、予期せぬ緊急事態にも市役所機能を保つことができる組織づくりを推進する。	概ね達成	「ＳＫＩＰ制度」の活用により、2名の職員がプロジェクト（総合計画ＳＤＧｓ版の作成・マイナンバーサービスセンターにおける予約システムの導入）に参加。 令和４年4月1日以降、時間外での従事を月１５，５時間まで可とする要件変更の検討。 木津川市職員テレワーク実施要領の制定による「テレワーク制度」導入により、９名の職員が利用。 効果的・効率的な研修プログラムについて年度当初から検討を行い、アンケート調査を実施し、意見の取りまとめを行った。今後も引き続き制度の活用・推進に努めていく。				